

NPO 法人 高齢社会をよくする女性の会 会報

No.173 2007年1月発行
NPO法人高齢社会をよくする女性の会
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-9-1
第31宮庭マンション802号室
TEL. 03-3356-3564
FAX. 03-3355-6427
郵便振替 00100-0-79477



当会恒例の「女の討ち入り」

— 目次 —

東京歳末名物 女たちの討ち入りシンポ
男だけで語るな 団塊大定年

第1部 対談「われら団塊、男と女で
大定年を語る」加藤仁・上野千鶴子… 1

第2部 「団塊女性 語ればこうなる
大定年」…………… 4

第3部 フィナーレ「老いを夫と生きるとき
先輩・経験者からの大発言」
寸劇…………… 5

リレー・エッセイ◎白井千賀子…………… 6

男・老いを語る◎橋口英俊…………… 7

本の紹介・事務局だより…………… 8

◆東京歳末名物 女たちの討ち入りシンポ◆

二〇〇六年十二月十日(日)

男だけで語るな 団塊大定年

於・女性と仕事の未来館

昨夜来の雨も上がり、当会恒例「女の討ち入り」には絶好の小春日和。

「戦後のベビーブームに生まれた団塊の世代がついに定年を迎える2007年問題。世間では男性の側からのみ語られているくらいがある。そこで、当会では「男だけで語るな、団塊大定年」と題し、様々な視点から、縦横無尽に語りつくすことにした」と総合司会の松村満美子さんから紹介があり、樋口理事長の開会の挨拶の後、まずは、男と女、おのおの団塊の旗手にご登場いただいた。

第1部 対談「われら団塊、男と女で大定年を語る」

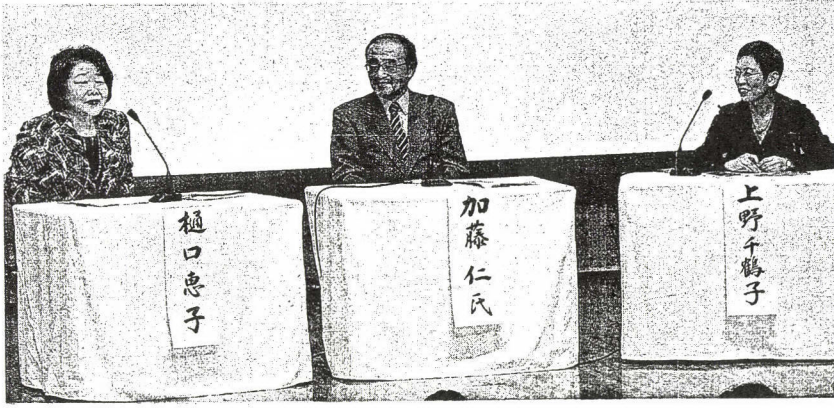
加藤 仁
上野 千鶴子
聞き手/樋口 恵子

1932年生まれの私の同級生の方に、父親が復員して年の離れた弟妹が生まれたというのが、加藤さんの年、上野さんは、終戦を迎え平和になった新婚さんのお子さんでしょうか。

樋口 1947年5月3日、新憲法の制定と共に生まれ、「定年問題では日本の第一人者」加藤仁さんと、東京大学大学院教授で女性ならばその名を知らぬ人はいないと思う上野千鶴子さんは、1948年7月12日生まれ。

私が青春のとき日本は高度成長のとき。働き盛りのときはバブルでイケイケ、人生の下り坂になった今、日本も下り坂(笑)。私より先の世代の方は戦争で惨憺たる思いをしているし、今の若者はかわいそうにもの心ついてからずっとデフレスパイラル。この世代に生まれて

加藤さんは同輩「擁護」に回る。「単身赴任で炊事洗濯を鍛えられた男も多い。」「男女同権もすり込まれ、「夫は夫、妻は妻で」と、三食すべて妻が作るというの



は少ないのではないか」

さらに「パソコンの操作を苦手としないし、会社では人事教育の費用もかけてもらえ、資格を持つ人も多い。地域社会で財として活用しない手は

上野千鶴子さん、加藤仁さん、代表対談

「東京新聞」に大々的に報じられた記事から抜粋

よかったと思っています。

加藤 ご指摘の通り、年の離れた弟として生まれました。この時期の男は、敗戦で公職追放など総じて元気がなかったのに比べ、女は生きていくために元気だった。近頃とみに「元氣な母親」に育てられた世代なんだと実感しています。

樋口 確かに、子供を食べさせるために獅子奮迅の働きをする母親の傍で茫然自失の男たちが多かったですね。

加藤 その世代の男が父親になったとき、その「呆然」を引き継いだのかなと思うことがよくあります。

樋口 茫然2世ね。(笑) さて、ここでお2人に「団塊の世代」の自画像を語っていただきましょう。

加藤 いろいろな人が団塊の世代について語られますが、それをきいて一番ピンと来ないのが、団塊の世代なんじゃないかと思うんです。全共闘時代と言われても、大学に進学したのは15パーセントくらいだし、「ビートルズ世代」といわれても、同級生でレコード持ってたのは数えるほど。つまり、共通の経験は、「す

し詰めの義務教育時代」まで。ちなみに中学生のとき、1クラス64人で1学年で19クラスありましたから、「数の圧迫」は確かに感じましたし、それが3年間で750万人という塊になると、いろいろな見方ができるんでしょうね。

「パソコンが苦手でない最初の世代」

加藤 「定年」という切り口ですと取材を続けてきた中で、団塊の世代が今までの世代と歴然と違うところは、パソコンの操作を苦手としない最初の世代であり、最低限の「衣食住」で暮らしている最後の世代でもあると思います。

サラリーマンとしてはとても恵まれた世代で「社員教育」にお金をかけてもらい、様々なスキルを身につけられた世代だと思えます。今後、地域の中でそれを生かさない手はないと思います。一方女性たちは、一度家庭に入った後、パートなどで働き始め、企業社会の矛盾や理不尽さを知り尽くした上で地域でいい活動をしている人が多い。

もうひとつ、同じ定年退職者でも明治

生まれで何度も戦争体験をしてきた人たちは、生きることのリスクを知っており、とてもエネルギーでむしろかっただの比べ、年金など恵まれているせいがとても保守的な人が多いと感じます。その人たちが、今後地域の中でどんな汗をかいたかが、団塊の世代の課題だと思います。

樋口 なるほど。上野さん、女性の立場としてはいかがですか。

上野 加藤さんは評論家風にクールおっしゃいましたが、私は「団塊男に恨みは数々ござる」(笑)。私からいえば、団塊世代の男と女は別人種。一緒にしてくれるなどという感じ。団塊男は「最後の旧男類」。学校では、「男女共学」で学んだくせに、結婚してサラリーマンになった途端に、まったくの別コース。それが定年で老後はまた同じコースをと言われるても、そんなにうまくいくもんだと。ちなみに、我々世代の大学進学率は14パーセント。その中で女は5パーセント。終身雇用制の中で定年を迎えたのは17パーセントしかいませんし、女性の中では働

続けて定年を迎えた人なんて10パーセントにも満たない。つまり、「報われない仕事に軸足を置いている莫迦な女はいない」といっても過言ではないでしょう。

「前倒しの年金生活者」

上野 「専業主婦」といわれる女性たちは、「前倒しの年金生活者」。その条件は、収入はあるが不在の夫がいること。この人たちは、40台とても楽しい生活だったのに、定年で夫が帰ってくる。

かつて「濡れ落ち葉」をひろめたのは樋口さん。「産業廃棄物」といったのが私。悪さの度合いが違います(笑)

もうひとつ、茫然2世の父親は、子育てにも失敗。フリーターやニートになった子供たちは、本来なら少子化のおかげで、結婚してもどちらかの親の家をもらえたのに、超高齢化のおかげでそれもままならない。自分の資産を食い潰して死んでいく団塊の世代に残され「不良債権」化した団塊ジュニアの問題も考えなければいけません。

樋口 はーあ、男と女ではこうも視点が

違いますか。「新女類」っていうか。

上野 「金妻時代」ともいわれ、それまでの世代のように「浮気はしたいが踏み留まる」のではなく、「したくて踏み出した」世代です

加藤 うーん、そういうケースもあると逃げるしかないですね。(笑)。それと定年問題というと「男性」のことが多いけれど、女性にとつての定年についてもつと語られるべきだと思うので、その辺のところを「男、老いを語る」に書かせていただきました。(No.172号参照)

妻にとつて夫の定年とは

上野 妻にとつては、夫が帰ってきてから出て行くまでが「勤務時間」ですから、定年で一時的に退職金が入るのは歓迎だけれど、収入は激減して、「勤務時間」は延びるんですから、あまり嬉しくないと思います。ただ、樋口さんの世代と違うのは、円形脱毛症になるくらい我慢するのではなく、私には私の世界があると、夫を置いてさっさといきたい所に出かけることですね。

加藤 その意味で言うと、この世代の男性は単身赴任で鍛えられているし、学校時代、男女同権って言うのは、「刷り込まれて」いますからね。

上野 正規雇用のサラリーマンの5割近くはなんらかの形で、単身赴任経験していることは事実ですし、今は「チン」といった強い味方がありますし。

加藤 少なくともそれまでの定年世代と違って、そういう意味では自立してまっすね。

結婚、就職で別コースを歩んできた男と女が「定年」をきっかけに、再び昔のように「共学コース」を歩めるか――。

舌鋒鋭く切り込む上野さんの言葉をやんわりと受け止めながら、いぶし銀のように光る加藤さんのお話。この後も、論議は留まることを知らず、「ときめき」論をきっかけに、樋口さんをうならす「定年後の男女の交際と高齢者の性の問題」にまで及んだのですが、紙面の関係上お伝えできないのが残念です。

(稲葉敬子・記)

第2部 「団塊女性 語ればこう

なる大定年」

本会団塊世代多数出演

聞き手／沖 藤 典 子

団塊世代が大量に定年退職するときに起こり得る2007年問題は、なぜか男性のことばかりがマスコミで語られる。30数年働き続けた女性が定年を迎えることへの視点が欠落と異議を唱えたのが、介護しながら民間企業に勤務の片倉恵美子さんと、国民生活センター勤務の木間昭子さん。市役所勤務の白井千賀子さんは早期退職して今は社会福祉士として週4日間の勤務に変わった。

定年後、地域にどう関わっていくかは最大の関心事。片倉さんは仕事の傍ら友達と地域おこしの活動を始め、木間さんは障害者のための成年後見問題に取り組むと新たな決意を表明。文京区議の木村はそれまでの人生の延長線上で50歳にして立候補、第2の就職としてがんばっているが、団塊男性には社会参加意欲があまり見られないという。また、各自治体



壇上で快気炎をあげる本会団塊世代の面々

では団塊男性向けの講座がいろいろ企画されているが、ばらばらでまとまりにくく、妻向けのものは皆無に等しい。10年前から1人暮らしの女性のための活動に専念している松原惇子さんは、執筆業は毎日が定年だけど、60歳還暦がむしろ楽しみと、ゼロからの出発を期する。

NPO法人代表の渡辺美恵さんは長男の嫁として介護を負担しつつ、夫婦の関係にも男女平等参画実現をめざす。宮崎冴子さんは封建亭主に抵抗しながら、専業主婦体験を活かし、60歳にして大学教授に。

その他、次の世代に何を残していくか、女性があんばって世の中を変えていかなくては、というわけで団塊女性たちの旺盛なる意欲とユーモアあふれるトークにおおいに会場が沸いた。

(木村民子・記)



樋口恵子の替え歌を熱唱する井上え子さん

第3部 ファイナーレ 「老いを夫と生きるとき 先輩・経験者から大発言」

本会先輩世代多数出演

聞き手/袖井孝子

替え歌 「ラストチャンスを私に」

井上由美子

寸劇 行列のできる定年の上相談所

樋口恵子理事長の構成による恒例の寸劇。演ずるは劇団WABASの名(迷?)優たち。相談に答えるのは、藤原房子、吉武輝子、渥美雅子、谷島陽子、松田敏子。仕切るのは袖井孝子。

相談1 「妻(稲葉敬子)が昼飯を作らなくなった」「ご飯よと、と呼ばれて行ったらタマ(柳原智子)だった」と嘆く夫(吉武輝子)からの相談。

相談2 どこにだれと住むか。定年後は、田舎暮らしをしたい、親の介護のために帰郷したい、海外に雄飛したいと勝手な夢を描く夫を嘆く妻たち(沖藤典子、白井千賀子、松村満美子、柳原智子)からの相談。

相談3 「定年後、犬も嫌がる5度目の散歩」とポチ(渥美雅子)にも敬遠される夫(井上由美子)対策を求める妻(松村満美子)からの相談。

相談4 定年離婚の傾向と対策を求める男性(木村民子)からの相談。

回答者たちは、夫には自立を、妻には夫への理解を求める。こうした諸先輩の忠告を受けて、団塊世代にはより良い定年後を迎えてほしいものである。

(袖井孝子・記)



抽選で「秋山ちえ子」さんの著書をプレゼント!初の試みに興奮気味の理事長、両副理事長と司会の松村さん

老いの入口の ネットワーク

しら
白井 ちかこ
千賀子



昭和39年に都立高校を卒業した私たちは、数年前から同期のブログやメイリングリストでのネットワークを持つようになった。

近況報告だけでなく、様々なテーマで語り合っている。

この世代は終戦をはさんで生まれている。それで、自分の生まれた頃のことを、書き残そうという提案があり、それぞれが書き綴った。

外地からの引き揚げの話、奥多摩や八王子のような疎開先にまで戦火が押し寄せてきていたことなどが身近に語られた。

士官学校の教官をしていた父親が、終

戦で自決するのではないかと家族が案じていたことや、肺結核を患った父親を亡くし戦後の生活が悲惨だったことなど、身近な友人の話だけに身に染みる。そして、戦争は人間を不幸に落とし入れるだけのものだと思つた。

戦後半世紀を過ぎたいまだからこそ、子どもや孫の世代に残しておきたいと思う。

私の両親は、東京在住の沖縄出身者だったが、戦後の焦土と化した沖縄に敢えて帰っていった。祖父母の強い希望だったという。

私の古い記憶は、白い道路を米軍のトラックが我が物顔で走り、住民はまだ家族を探していた。

これらの記録は、年1度発行の機関誌に載せるべく編集 중이다。

還暦を過ぎて、これからどんなことが出来るか模索中ではあるが、それぞれの経歴を生かしたものが、ネットワーク出来そうである

俳句教室で句会をやってみたり、易しい経済講座や気象Q&Aなどというものもある。

今度は、これを地域講座や後輩のために役立てられないかなどと話している。

しかし、密かに私が目指していることは、このネットワークで孤独な引きこもりをなくし、鬱病と自死を予防することにある。これは、老年の入口にさしかかった私たちにとっての難問だからである。

プロフィール

37年間ソーシャルワーカーとして高齢者問題などに取り組む。現在は、子どもや母子関連の相談員。本会運営委員。社会福祉士。



心と体と社会・自然の 調和を求めて

はしぐち ひでとし
橋口 英俊 (ルーテル学院大学大学院教授)

1936年韓国生まれ。1965年東京大学大学院修了。医学博士。臨床心理士。東京家政大学教授、聖心女子大学教授を経て現職。東京家政大学名誉教授。日本カウンセリング学会常任理事。日本教育臨床研究所 (I J E C) 理事長。東洋医学心理研究所所長。

私は小一で父を失い、終戦直前に韓国から引揚げ、わずかな田畑を頼りに母の手一つで育ちました。病弱で、無医村に近く、母手製のせんじ薬やお灸指圧で危うく命拾いしたことも何度もありました。樋口先生の『祖母力』(新水社)であり、高齢社会をよくする女性の会そのもので心から感謝しています。大学で臨床心理学を学ぶ過程で、これは心身一如の東洋医学だと思い、あわせて研究し、現在心と体と社会、自然の調和を前提にした心身調整カウンセリングの実践と養成普及に努めています。高度文明の波は、逆に心と体、社会と自然をバラバラに体系化し、ますます細分化、複雑化する一方、全体が不透明になっています。また進歩幻想の名のもとに刹那的物質的便利さに目を奪われ、肝心の人間の生き方、あり方がみえなくなっています。東洋医学は未病を治す気の医学といわれます。心身のいかなる問題や病いもそこに至る前つまり未病の段階があります。この段階だと本人や家族や身近な人の手当てであわてなくてもすみます。東洋医学でい

う気は、心であり、命であり、流れです。気が止(病)む前に気がつき(命がつく)流れをよくすることです。今話題のいじめや自殺、不安、いらいら、うつも同じです。こりや痛み、むくみや痛みなどで体で訴えることも最近が増えていきます。まずその事にじっくり耳を傾け、未病の段階で手当てする。これが心身調整カウンセリングです。死亡率といいますが、実は100%で、生を受けたら必ず終わりがきます。私の関係する病院で、終わりに間近な方が「この世に生を受けてよかった。ありがとう」と笑顔で旅立たれる方があるかと思うと、のたうちまわって悲しみのどん底で旅立たれる方もいます。その違いはどこにあるのか。本当に生まれてよかったと両親に感謝しながら旅立ちたいものですね。それはどなたでも可能です。人生100年、横縞から縦縞人生へ(樋口恵子『心と社会』最新号・巻頭言)生きることだと思えます。私も及ばずながら皆さまと一緒には生涯のテーマとして取り組んでいきたいと強く念じています。ありがとうございます。

「こんな絵本に出会いたい
…自分らしく生きるには」

木村民子著

フェミックス発行

亜紀書房発売 一五〇〇円十税

木村民子さんが、ジェンダーの視点で道案内してくれる子どもの本は、ピッピのような楽しいロングセラーの本もあれば、ナチスの時代に生きた人を描いた名作、女の子がお金のために結婚させられようとする胸がしめつけられるような小説、パパとママの役割分担を規制の枠からはずした現代をリアルに描いた絵本、自立した老後のしあわせを描いた幼年童話など様々だが、多くのものが、人間の本質を描き、読み応えのある作品ばかりだ。楽しい本も、悲しい本も、バリアフリーの心で描かれた本には魅力がある。子どもの心も大人の心も揺さぶり、心の枠を広げてくれる。親ならば誰しも、自分の子どもたちに、生き方の幅や選択を、狭めて欲しくない、と願うだろう。女の子であれ、男の子であれ。時代の偏見よりも、自分の心のスタンダードを指標に、より自由な心で生きて欲しいと。もちろん大人である自分自身もそうありたいのだが。そんな願いを持った人に、いっしょに考えるきっかけをたくさん投げかけてくれる本だ。

(遠藤千恵・記)

「危ない！戦争がつくられる」

——一庶民の反省と不安

青木みか著

風媒社刊 八〇〇円十税

平成18年11月15日、教育基本法は野党欠席のまま可決されて参議院に送られた。私どもが60年間モラルの基準としてきた法が僅か100時間の審議で打ち切られたのは改憲を急ぐ安倍内閣の咎固めのためと考えられる。太平洋戦争で戦死した夫、原爆で被災した実弟をはじめ国内外での2000万人に及ぶ犠牲者を思う時、平和憲法を守りぬくべき使命を痛感せざるを得ない。筆者自身の無能さから体制に順応し不条理な戦争に協力してしまったことへの反省と国の安全保障を外交努力によって如何に守るべきかを探索し、記述した。福祉も長寿も平和のためもの、高齢社会をよくするには安定した平和国家が礎となる。60余年前、「灰燼」と化した国土の中から育かれた憲法や非核三原則には国民の高い教養と倫理観が結集されている。その存亡の危機に立つ今、改めてそれらの意義を評価したい。

5部以上購入の場合は1冊600円。

申込先 〒460-0013 名古屋市中区上り前津

2ノ9ノ14 久野ビル

風媒社 電話052(331)0008

(青木みか・記)

□ご寄附のお礼□

山林知左子様(宝塚市在住)より、ご逝去なされたご夫君山林一氏(東海大学医学部教授)のご遺志として多額のご寄附を頂戴いたしました。

事務局だより

★あけましておめでとうございます。事務局にも皆様からたくさんのお年賀状が届き、お礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお力添えくださいませ。

★昨年「討ち入りシンポ」が東京新聞で特大記事になりました。ご入用の方はご一報を。お送りします。

★1月26日(金)の例会はまだお席がありませんのでお申し込みください。

★2007年度総会の日取り決定です。6月29日(金)午後。翌30日(土)はお待ち兼ねの国際シンポ(朝日マリオ)です。何と「チャングムの誓い」の皇后役パクさんのご出演内定!!

★お詫びと訂正 会報前号7頁の下段後から7行目、「つて」は削除です。校正ミスで大変失礼をいたしました。